

おおぞら



ozora gikai

# ぎかい

## 23号

北海道大空町議会だより  
平成24年(2012年)2月29日発行

平成23年 第4回定例会 ……P2

●町の施設を管理・運営する「指定管理者」を指定

4つの施設を指定管理者による管理運営に

●町政を問う!

3人の議員による一般質問

平成24年 第1回臨時会 ……P13

●甲子園に出場する女満別高校を支援・

応援するための経費を予算化

～一般会計補正予算～

総務文教厚生常任委員会道外視察調査報告書 ……P18

■常任委員会・特別委員会活動状況、その他議会活動 ほか



表紙/多くの町民皆様と対話し、より一層開かれた議会にするため、2月16日に女満別地域、17日に東藻琴地域で「議会報告・視察調査報告会」を開催しました。

# 平成23年 第4回定例会

平成23年12月20日・21日の2日間の会期で定例会が開催され、次のことが決まりました。  
※ 質疑・答弁の内容などは、要約して掲載しています。詳細は両地区図書館に備えつけの会議録をごらんください（議会ホームページにも掲載しています）。

## サービスの向上と効率的・効果的な対応のため 町の施設を管理運営する「指定管理者」を指定

### 新たに2施設を指定管理者制度導入施設に

民間事業者などのノウハウを活用したサービスの向上や管理経費の削減を図るため、町の施設を管理・運営する「指定管理者」が指定されました。

施設の所在地及び名称	指定管理者の住所及び名称	指定管理者の指定期間
大空町東藻琴387番地の8 ふれあいセンターフロックス (新規制度導入施設)	大空町東藻琴387番地の8 社会福祉法人 東藻琴福祉会 理事長 佐野 迪	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで
大空町東藻琴340番地の1 大空町障がい者福祉センター ちあふる (新規制度導入施設)	大空町東藻琴387番地の8 社会福祉法人 東藻琴福祉会 理事長 佐野 迪	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで
大空町女満別本通3丁目10番地 女満別地域振興会館 (指定期間満了に伴い更新)	大空町女満別本通3丁目2番7号 大空町商工会 会長 鈴木 康悦	平成24年4月1日 から 平成27年3月31日 まで
大空町女満別朝日44番地の2 朝日ヶ丘公園 (指定期間満了に伴い更新)	大空町女満別東陽3丁目3番8号 大空総合管理協同組合 代表理事組合長 郷右近 英宣	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで

### 質疑と答弁

(朝日ヶ丘公園の指定に関して)

#### 品田議員

朝日ヶ丘公園を指定管理者により管理・運営してきた過去5年間を、どのように評価するか。その参考資料や分析を開示し、明らかにするべきではないか。

品田議員 朝日ヶ丘公園を指定管理者により管理・運営してきた過去5年間を、どのように評価するか。その参考資料や分析を開示し、明らかにするべきではないか。  
基準額算定表での平成24年度から平成28年度までの指定管理委託料は、平成23年度と比較して80万円ほど増額になっているが、その理由は、  
トラブルや多くのワレームの根本的問題は、どこにあると考えているか。

#### 産業課長

平成20年の利用者数1万5、770人をピークに利用者数が年々微減しており、近郊での施設オープンや近年の天候状況も影響しているのではないかと。  
現指定管理者には、利用者のために5年間

広大な敷地を管理いただき、芝生は他のパークゴルフ場よりも管理がなされているとの評価をいただいていると思っております。  
平成24年度からの指定管理委託料は、4%の事務費と芝管理経費を加算したため、若干増額している。  
不特定多数の方が施設を利用されることから、大なり小なり苦情や意見をいただいている。その対応は、まず指定管理者が行い、両者納得いかない場合は行政に報告され、我々は中立の立場でその問題解決にあたってきた。

#### 品田議員

町民の大方の評価と全く逆行している。芝は他町村と比べて良好というが、ことしは最悪だった。認識の乖離が余りにも激し過ぎるのではないかと。指定管理者選定委員会での評価も不明瞭で、重要な参考資料もない。議会対応のための参考資料は、閲覧だけでは

済まされない問題である。

#### 町長

資料の提出の仕方、議会との一定の約束の中で提示しているが、改善が必要であれば協議し、その中で決めていきたい。  
トラブルなどの根本的問題の対応については、利用マナーの問題もあり、指定管理者側の対応の問題もある。その都度両者に話をし、今日に至っている。

芝の状況などは、5年間全体を見た中でいい年もあり、その管理に苦慮した年もあった。指定管理者選定委員会の中で議論し、産業建設常任委員会にもその内容を報告して、意見を多くいただいている。そのことを指定管理者に十分伝え、改善を図ってきた経過にある。

#### 町長

その認識がないということ、問題は直つていない。  
何回も言われている案件で同じことを繰り返しており、指定管理者制度の根本の問題に危惧せざるを得ず、ガバナンスがないとしか言いようがない。

確かにいろんなトラブルがあった。それでもサービスを提供する側だろうと言われるが、施設側のルールもある。その後の対応が行き過ぎということ

もあつたかと思う。

町内外の多くの方々にご利用いただかなければならない現実がある。決して指定管理者だけに任せることなく、町も率先してトラブルがない中で運営できるよう努力したい。



『朝日ヶ丘公園パークゴルフ場』

### 朝日ヶ丘公園の指定管理者指定に

#### 反対

品田 好博 議員

議会にかかる資料が乏しい上、毎年のように発生するトラブルは改善する気配もなく、管理運営者のガバナンスがないと断定せざるを得ない。この問題は過去にもただしたが、原因究明されていると思えない。売り上げ低下、利用者減、どれをとっても管理者の能力を疑うものである。行政側にも責任があり、原点に立ち戻って一から出直してほしい。このまま放置することは議会不信にもつながりかねない。議員の一人として看過できず、反対するものである。

#### 賛成

深川 昇 議員

現行の指定管理者に対して管理運営上の問題など指摘事項があることは事実だが、指定者並びに所管課において契約時、また、期間中の管理指導徹底、さらには連携することにより、この問題点は処理できるものと判断する。地元企業育成の観点からも、賛成するものである。

朝日ヶ丘公園の指定管理者指定に関して討論が行われ、起立多数で決定しました。  
(朝日ヶ丘公園以外の3施設の指定管理者の指定は、全員賛成で決定しています。)

### ぎかいQ&A 「討論」とは？

議会の議事進行は、一般的に議案の「提案理由の説明」と、それに対する「質疑、討論、採決」の順番で進められますが、「討論」には議案の採決前に、議題となっている案件について ①自分の賛否に関する意見を表明して、意見を異にする議員や態度未定の議員に対し、自分の意見に賛同・同調させる場 ②自分自身の考え方や政治的立場などを明確にする場の2つの目的があります。また、討論は同じ議題に対して一人1回限りで、提案された内容に反対する者から行われます。討論によって、議員の考え方をより明確に知ることができます。

### 一回メモ

※2) **長期継続契約**～町の会計年度は、地方自治法で4月1日から翌年3月31日までとされており、契約期間も、原則会計年度内になります。

「長期継続契約」は地方自治法に規定されており、長期にわたって契約するほうが合理的とされる電気・ガス・水・電気通信役務の提供について認められていました。

契約形態の多様化により、平成16年に同法が改正され、翌年度以降にわたっての物品借入れ、役務の提供を受ける契約など条約で定めるものは、複数年度の契約が可能になりました。

〔主な役職の報酬額〕

役職名	支給区分	報酬額
農業委員会会長	月額	39,500円
農業委員会会長職務代理	月額	31,750円
農業委員会委員	月額	28,250円
教育委員会委員長	月額	38,500円
教育委員会委員	月額	27,250円
監査委員（識見を有する者）	月額	53,000円
監査委員（議会選出）	月額	34,000円
選挙管理委員会委員	日額	7,500円
固定資産評価審査委員会委員	日額	7,500円
青少年健全育成指導員	日額	7,500円
スポーツ推進委員	日額	7,500円

※上記の他、日額報酬の各種委員会等の委員長・会長は8,000円、委員は7,500円。

〔複数年度にわたって契約できる内容を明文化〕  
 物品の借入れや役務の提供などの契約期間を複数年度にできるように「大空町長期継続契約（※2）を締結することができる契約を定める条約」が制定されました。

〔町の非常勤特別職報酬の支給方法を見直し〕  
 「特別職報酬等審議会」に町長が諮問して得た答申結果をもとに「大空町特別職公務員の報酬及び費用弁償条例」の内容が改正され、一部の報酬支給方法などが見直されました。

〔主な内容〕  
 ① 農業委員・教育委員  
 ・監査委員の報酬を年額支給から月額支給に  
 ② 農業委員報酬を月額

1、000円増額  
 ③ 青少年健全育成指導員・スポーツ推進委員の報酬を年額支給から月額支給に

〔東藻琴 旧末広牧野を売却処分〕  
 町が管理する牧野から除外した「旧末広牧野」について、売却の希望があった5名に対し、面積約102万

平方メートルを約2、024万円で売却することが決まりました。

### 一回メモ

※1) **指定管理者制度**：公の施設の管理・運営は、財団法人・社団法人・町の出資団体などの公共的団体だけにしか委託することができませんでしたが、平成15年に「地方自治法」が改正され、民間事業者などを含めた幅広い団体が地方公共団体に代って担えるようになりました。

この制度により、町民ニーズへの効果的、効率的な対応、民間能力を活用した住民サービスの向上、公の施設の管理経費の節減が期待されます。



女満別ウェブサークルの活動の様子

〔女満別伝承館に指定管理者制度（※1）を適用〕  
 女満別伝承館の管理運営を指定管理者が行えるようにするための規定を追加するなど、「大空町女満別伝承館条例」の内容が見直されました。

伝承館は、社会福祉協議会が事務所を構えているほか、「女満別囲碁クラブ」「女満別陶の会」「女満別ウェブサークル」の3団体の活動に利用されています。

〔3歳未満児の保育充実を図る〕

3歳未満乳幼児の保育充実を図るため、平成24年4月1日から大空町立豊住保育園の定員が次のとおり変更になります。

社会教育課長 条例第4条第2項に「教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず開館時間を変更し」と規定し、その中で整理していきたい。

小島議員 従来の提案だった指定管理ができてるとのことです。賛同したいが、女満別伝承館の設備は、焼き物関係が夜中も使えることになっており、開館時間を午前9時から午後9時までとした場合、その辺は条例上どのように整理されているのか。

質疑と答弁

お願い

議長宛ての案内文書については、事前に公務などの日程調整が必要になるため、必ず議会事務局まで「持参」または「郵送」でのお届をお願いします。

送り先：  
 〒099-2392  
 大空町女満別西3条4丁目1番1号  
 大空町議会議長  
 （大空町議会事務局）宛

請願陳情をされる方へ（書式）例

（表紙）

○○○○○○○○○に関する  
 請願書  
 （陳情書）  
 紹介議員○○○○○◎

（内容）

○○○○○○○○○に関する請願（陳情）  
 要旨 ○○○○○○  
 理由 ○○○○○○  
 ○○○○○○  
 平成 年 月 日  
 大空町議会議長 様  
 大空町○○○○○  
 ○○○○○◎

※請願には紹介議員が必要ですが、陳情に紹介議員は不要です。

【お問い合わせ先】  
 大空町議会事務局  
 0152-74-2111（内線266）



保育の充実を図り、出産・育児に安心を

変更前の定員	
満2歳以上	40人
満2歳未満	15人

↓

変更後の定員	
満3歳以上	20人
満3歳未満	30人

# 町政を問う!

(一般質問3名)

平成23年第4回定例会では、3名の議員から町の施策などに関する一般質問が行われました。

※ 質問、答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館備えつけの会議録をごらんください(議会ホームページにも掲載しています)。

**町民の目にとまる手だてを考えると**  
**議員** ある町民の方に町民憲章を言えるか尋ねたところ、「言えるかどうかで、生活が変わるわけではない。」「生活をしていく上で、何も変わらない。」「といった返答があった。そのように言わしめる責任は、役場や議員に責任があると感じている。町民憲章だけでなく、町の木、花、町章、シンボルマークなどが常に目に入るから身近にあり、町民の目にとまる手だてを考えると、愛町心もわいてくるのではないか。」



## ご存じですか 町民憲章を

中堀 君子 議員

空港前のバイパスの入り口に、「お土産に花と音楽の心を」という大きな文字の看板がある。この看板の文字のように、常日ごろ町民の目に入るような手だては何か。「広報おぞら」「まちのおしらせ」、その他郵便物が数多く送られてくる。それらに町民憲章の1行でも書き込むことで、町民の目にとまるようになるのではないかと。封筒には町章が印刷されているが、「シンボルマークとどう違うのか」と言う方もいる。広報誌などで少しずつ浸透するものと思うがどうか。

神を受け継ぎ、大空町の姿と町民の行動目標となる「大空町民の誓い」を平成19年6月に制定した。制定後間もなく、広報誌での紹介、同年7月開催の交通安全・社会を明るくする運動大会での町民皆さんによる朗唱、自治会内の回覧板への印刷、クリアファイルに印刷して小中学生に配付、公民館へのパネル掲示などを行い、PRを図った。現在では、成人式やこびぎ大学の入学式・卒業式などで朗唱されている。

**町長** まちづくりの根幹となる町章、町民の誓い、シンボルマーク、町の木・花、町技などといういろいろあるが、それらを象徴して、まちづくりのシンボライズ的な指針となるような宣言が必要だと思っている。

**議員** 当選後、私の初めての一般質問内容は、「花と音楽のまち」「フンキーランド」というキャッチフレーズに関してであった。その後、それらにかわるキャッチフレーズを考えているか。

**大空町のセールスマンに**  
**議員** まちづくり宣言をしないだとか、町民を集めて考えなさいと言っているわけではない。町民の方たちには非常にわかりづらいというところで、今回質問した。例えば、今ある封筒の裏にパソコンを使って町民の誓いを記載するなど大空町のセールスマンになったつもりで、郵便物を出せば他町村や町民にも見えるようになる。ぜひやっていただきたいし、早速できることだと思っ来年度と言わず、あしたからでもできるかどうか、お答え願う。

## 【各会計予算の補正】

次の内容のとおり、各会計予算が補正されました。

◆一般会計：予算総額5,300万円増の77億5,618万円

《一般会計補正予算の主な内容》 ※万円未満四捨五入した金額で表記しています。

【歳入】	【歳出】
●〔女満別〕 3丁目線道路整備事業交付金 +2,015万円	●〔女満別〕 3丁目線改良舗装工事 +3,124万円
●〔女満別〕 3丁目線道路整備事業債(道路整備のための借入金) +1,090万円	●平成23年発生災害河川復旧工事等 +1,560万円
●備荒資金組合災害支消金 +1,560万円(平成23年災害河川復旧のため)	●生活路線バス運行維持対策補助金(赤字路線運行に係る網走バス株式会社補助) +147万円
●一般寄附金 +615万円	●公共施設等整備基金積立金 +500万円
	●外国人住民が住民基本台帳法の適用を受けることに伴うシステム改修委託 +294万円
	●消防団費負担金 +347万円(東日本大震災支援等の安定的実施を確保するため、消防団員等公務災害補償に伴う掛金が、一人当たり1,900円から24,700円に増加。)
	●女満別・東藻琴両高等学校の生徒数確保等のため、制服購入費用を助成 +369万円

**一回メモ**  
**「支消金」とは**～災害復旧費用などへ充当しようとする場合に、道内市町村で構成される「備荒資金組合」から受け入れられるお金です。

◆後期高齢者医療特別会計：予算総額56万円減の9,061万円  
 ◆介護保険事業勘定特別会計：予算総額45万円増の6億4,439万円



平成23年9月2日の大雨で被害があった普通河川「無名川」の様子



高校の生徒数確保に向けて制服購入費用を助成

## 【教育委員の任命に同意】

教育委員の任命に同意しました。  
 相馬 隆 氏 (女満別眺湖台)



(任期：H23.12.26～H25.6.11)

## 議会提出案件

【平成22年度各会計歳入歳出決算を認定】

決算審査特別委員会委員長から委員会の審査報告を受け、本定例会で平成22年度決算が認定されました。

## 【国に対して意見書を提出】

国に対して「環太平洋経済連携協定に反対する要望意見書」を提出しました(内容は、P.21に掲載)。

## 【定期監査・月出納検査報告】

監査委員から、11月29日から12月1日を実施した定期監査結果と、平成23年8月から10月分までの月出納検査結果が報告され、了承しました。

が、不確かな部分がたくさんある。職員との課題整理の中で意見交換もしているが、自身の考え方が十分とまっていけない。議会の皆様にも提案いただければありがたい。

# 異業種交流について

齋藤 宏 司 議員

る。今後の事業展開に当たって、その手法を参考にしたい。

そらつきーカードの利用を

議員 地域活性化という部分での新たな店との出会い、そこそらつきーカードの利用をつなげられないか。

町長 「まちコン」の発想のいいところを今後取り入れながら、事業を成長させていきたい。

結婚しない若者をどう思うか

議員 今の風潮として、結婚しなくても1人で生活できるという方がふえていることについて、どのようにお考えか。

町長 若い方々が、何かに向かって大きなエネルギーを出しているところが、なかなか見えない。結婚ということもエネルギーを費やす

交流会が年1回開催されており、町民の方々の主催のコンパが町内飲食店で開催された例もある。

ことし開催予定の異業種交流事業は、若者力の結集につなげるため、さまざまな業種の方々の交流の場の提供と、「婚活」としての位置づけという二面性を持った事業としてとらえ、内容を検討しながら複数年実施し、事業効果をはかつていきたい。

町職員が率先して参加を

議員 町内の飲食店で、4月から12月までの計7回、交流パーティーが行われた。参加延べ人数は135人ほどだが、残念ながら町民は

ほとんどいない。町が企画しての異業種交流なので、町職員も率先して参加してはどうか。

産業課長 各団体とともに参加を促進していきたい。

「まちコン」の運営手法を参考に

議員 開催する上で大変なのは、人集めである。盛んに行われている「まちコン」では、メールで参加者を募集している。パソコンや携帯の時代であり、メールの活用も有効ではないか。

産業課長 大変ブームになっている「まちコン」は商店街の活性化の意味も含めて行われている。

議員 政府が、我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針、行動計画を決定したが、実際に国自体がTPPにどれほどの危機感を感じているのか、町長のお考えも含めてお聞きしたい。

農家も参加した研究会の立ち上げを

議員 TPPに参加した際の影響など、農家も入った形で研究会を立ち上げてもらえないか。町長 行政だけではなく、町民・農業者・消費者の皆さんも含めて議論し、その中の意見を国にぶつけていけるような努力をしたい。

町長 封筒に限らず、いろいろな印刷物へ掲載し、その中で町民の耳に触れる、目にとまる機会を広めていこうと



公共施設に「町民の誓い」が掲示されるようになりました

いう考え方は、御提案いただいたとおりかと思っており、今後実施していきたいと考えている。

〔町章〕



〔シンボルマーク〕

もので、そこに向かっていく煩わしさが一番

の原因ではないか。

## 町道の整備と維持管理について

指定管理者制度導入によりどのように把握・検証しているか

議員 ①町道総延長に占める改良舗装整備率及び今後の整備方針、②町道の維持管理や除排雪について、平成22年度から指定管理者制度を導入し、町民からいろいろな声が寄せられていると思うが、内容をどのように把握し、検証しているのか。

町長 町道の総延長624キロメートルのうち改良舗装は299キロメートルで、48%の舗装整備率である。改築要望などが多く出されるが、道路整備は高額な投資になる。計画的補修も必要と考えており、整備するに当たっては地域からの要望はもちろん、危

険度をはじめとする各状況を総合的に勘案して進めたい。

市街地区以外の舗装をどう考えるか

議員 舗装率48%の内訳は、ほとんどが市街地区だと思いが、それ以外のところの舗装率に関するお考えは。

町長 農業農村基盤整備事業の要望などたくさんあるが、予算全体が縮小されている。国の有利な財源がないため、慎重に判断しながら計画を進めていく必要がある。

林道の維持管理は町道の二の次

議員 平成6年に豊住林道が開設された。林道

の管理は町道の二の次になっているように思うが、そのことに対するお考えは。

町長 町道・林道という区分はあるが、どちらも町の財産として管理しており、巡回作業などを行っていき

## TPP問題に対する考え方について

TPPに参加した場合の影響と対応策は

議員 TPPに参加したと仮定した場合、本町の影響及び取り組みと対策をどのようにお考えか。

町長 農業の衰退から関連産業が縮減し、地域の崩壊という負の連鎖がおこるのではないかという不安や心配を抱

いている。

町としてTPPに断固反対する姿勢で臨みたいが、もしものときに想定した対応も必要。産業課を中心に情報収集を行い、問題点の洗い出しと、さまざまな想定研究を進めておきたい。

国は危機感を感じているのか



食の安全も気がかりです

# 地域交通システムについて

松田 信行 議員



## 地域交通システム導入調査実施後の状況は

**議員** 本町では、平成19年度に地域交通システム導入に関する調査が実施され、構築に向けた考え方が示されたが、調査後の3年間で各交通機関の計画、実施評価、改善はどうか。また、その整合性は。

3)はその時点で今後の検討課題として区切りをつけた。  
調査結果をもとに検討し、地域間バスの運行、女満別駅から女満別高校までのスクールバス運行、福祉タクシー券の拡大など取り組んできたが、相互の整合性までは至らず、不便のすき間を埋めているような状況にある。  
平成24年度に向けての課題に対応するため地域交通システム検討会議を新たな体制でスタートさせ、デマンド交通なども検討していきたい。

### 一回メモ

※3) デマンド交通～「デマンド (demand)」は日本語で「需要」「要求」「要請」を意味し、「デマンド交通」は利用者が交通事業者などに乗車を「要請」することで利用する、主に過疎地に広がっている交通手段です。

活路線バスへの影響は、また、免許を自主返納するが地域とのかわりほもちたいという高齢者がふえてくると思うが、これらについて、どのようにお考えか。

いが、いいと思ったシステムが逆にシステム崩壊につながるので、整合性に配慮して慎重に検討してほしい。

**町長** 町単独で行う発想はなく、民間の方々の交通の仕組みを活用しながらデマンド交通ができないか検討しなければならず、本格導入する際には、民間の皆さんの力をおかりした中で仕組みをつくる必要がある。

## 地域アクセスマップをつくるべきでは

**議員** 大空町の地域交通機関、対象者、路線を示す地域アクセスマップをつくり、身近に感じられるように考えるべきではないか。

**町長** 本町に必要な疑問点があるため、十分検証し、いろいろなパターンを考えた。



女満別→東藻琴を運行する「地域間バス」

生活路線バスと免許自主返納者に関する考えは  
**議員** 通学費用負担軽減のためルート設定した、女満別高校までのスクールバス運行による生活

整合性に留意し、慎重な検討を  
**議員** デマンド交通は積極的に取り組んでほしい。

## 公共施設の電力使用適正化について

### 電力使用適正化調査結果と今後の対応は

**議員** 平成22年度に大空町内の自家用電気工作物施設の電力使用適正化に向けて調査業務が行われたが、その概要と調査結果及び今後の対応は。

費用対効果、公という社会的使命を考えると、平成24年度予算の中で実践していきたい。

### 「見える化」につながるのでは

**議員** 東京都狛江市では、デマンドシステムを導入し、職員全体のパソコンにつないで節電意識に努め、効果があったと報告されている。職員全体でつなぐことは、職場の節電の「見える化」につながるのではないか。

### 町長 試験的にデマンド

値(※4)監視モニターを担当課に設置している。30分間の電力使用量が一定値を超えると警報が鳴り、担当職員が不要な電気がついていないかなど連絡を入れながら確認しており、来年度の導入に向けて

けて検討している。全職員が確認できるようなことは、意識を高めていく上で必要と

### 一回メモ

※4) 『デマンド値』：最大需要電力のことで、電気料金算出に使用される電力値を言います。

## ESCO事業の検討も必要では

**議員** ESCO事業(※5)の活用も検討する必要があるのではないか。

**町長** その事業に関しては詳細に情報収集して皆さんに情報提供できる機会を設けたい。

## 速やかに対応するべきだったのでは

**議員** 電力使用適正化の調査結果が出たのがこの3月であり、ここまでの間に議論し、煮詰めておくべきだったと思うが、どうお考えか。

### 町長 3月に結果が出た

後、随時取り組めるものはあった。私自身が十分な指示をせずにここまでできたことは、大変反省している。新年度予算に計上するものは計上し、本年度予算で取り組めるものは、あすからと言わ

ず、きょうから取り組みを進めていきたい。

### 一回メモ

※5) ESCO(エスコ)事業：省エネ効果が見込まれるシステム・設備などを顧客に提案・提供し、維持管理まで含めた包括的サービスを提供する事業をいいます。

顧客が光熱水費などの経費削減に必要とする投資の大部分をESCO事業者が負担し、削減できた経費実績から一定額を報酬として受け取って、長期間で投資を回収し、利益を確保します。導入した設備などに省エネ効果がなくコストが増加し、顧客に損失が生じた場合、ESCO事業者が補償することになります。



役場庁舎へ試験設置中のデマンド値監視モニター

# ●平成24年 第1回臨時会●

2月10日の1日の会期で、平成24年第1回臨時会が開催され、次の事項が全員賛成により決まりました。


※ 質疑・答弁の内容などは、要約して掲載しています。詳細は両地区図書館に備えつけの会議録をごらんください（ホームページにも掲載しています。）

## 甲子園出場を決めた女満別高校野球部を支援

21世紀枠で春の選抜高校野球大会に出場が決まった女満別高校野球部の活動支援などのため、「北海道女満別高等学校甲子園出場協賛会」に対して補助する1,000万円のほか、野球部応援のために必要な諸経費を増額することを主な内容とした一般会計補正予算が可決され、総額が1,158万円増の77億6,776万円になりました。

補正予算のほか、「職員懲戒審査委員会委員」に元氏 充氏（女満別西2条5丁目）、「固定資産評価員」に藤田 勉氏（女満別西3条2丁目）を選任することに同意しました。

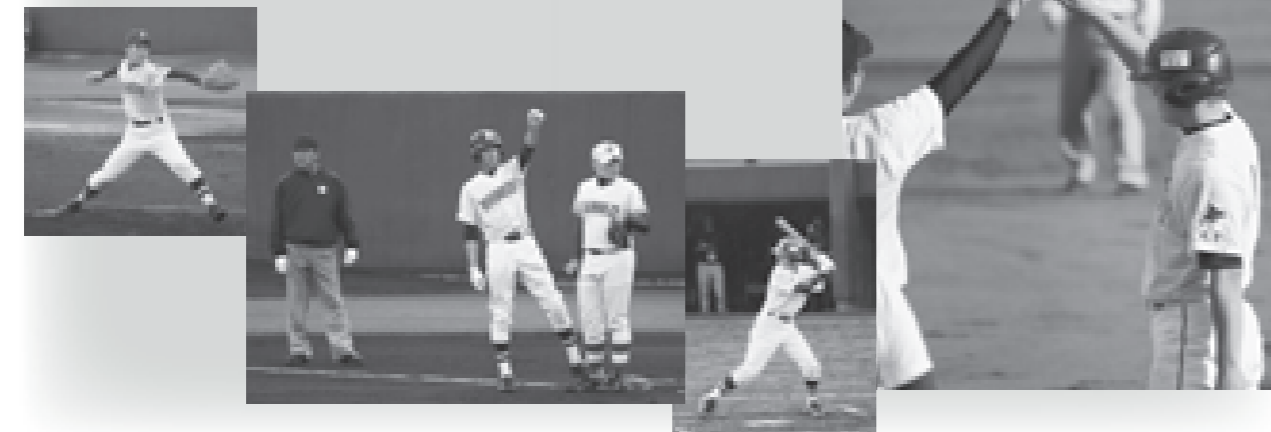
**女満別高等学校 野球部の皆さん**  
**甲子園出場**  
**おめでとう！**



平成24年、新たな年の幕開け後間もなく、本町に明るく、大きな話題が舞い込んで来ました。

『女満別高等学校野球部 21世紀枠で選抜高等学校野球大会に出場決定！』という、すばらしい内容で、連日報道でも大きく取り上げられています。本当におめでとうございます。

野球部の皆さん、あこがれの甲子園の地で、日ごろの練習で鍛え上げた『女満別高校野球部』の力を存分に発揮してください。



# ●平成23年 第3回臨時会●

11月24日の1日の会期で、東藻琴総合支所大会議室での「移動議会」として平成23年第3回臨時会が開催されました。本議会に提案された議案は、すべて全員賛成により可決されました。

※ 質疑・答弁の内容などは、要約して掲載しています。詳細は両地区図書館に備えつけの会議録をごらんください（議会ホームページにも掲載しています。）

## 質疑と答弁

勝田議員 国家公務員

給与を7%ほど減額し、復興財源に充てる政府の考え方があったかと思う。国家公務員は、人事院勧告に基づく改正がされていないようだが、地方公務員も震災復興財源の捻出に協力するべきとの考え方も示されていた。人事院勧告に準じ、国家公務員給与7.8%減額にも準じること

【「人事院勧告」に準じて職員給料表を引下げ】平成23年の人事院勧告では、国家公務員の給与が民間の給与水準を上回っているとして、給与のマイナスイラストが行われた。大空町職員の給料表は条例で定められており、国家公務員に対する人事院勧告内容に準じる形で大空町職員給料表の引下げが行われました。

総務課長 近隣の町村

もそうだが、今回は人事院勧告を重視し、先行して実施する。法案は通っていないが、もし国が7.8%下げたことを決定し、地方交付税にも影響するようなら、町村も考えざるを得ない状況になるかと思う。

【職員給料表引下げに伴い人件費を減額】

人事院勧告に準じた給与表引下げによる職員給与等の減額を主な内容とした、各会計の補正予算が可決されました。

- ◆一般会計・予算総額 770万円減の77億318万円
- ◆簡易水道事業特別会計・予算総額3万円減の4億688万円
- ◆下水道事業特別会計・予算総額3万円減の3億4,687万円

## 議会だよりへの御意見・

## 御要望を募集します！

『議会広報編集特別委員会』では、より読みやすく、親しみやすい広報誌を目指して、常に検討しながら作業にあたっています。

多くの住民の皆さんにごらんいただくため、また、住民の皆さんの声を多く取り入れるため「こういった内容を取り上げられないか?」「こういう紙面構成にしてみてもいいか?」など、どのようなことでも構いません。皆さんの御意見・御要望をどんどんお寄せください。お待ちしております。



【お問い合わせ先】 〒099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号 大空町役場内  
大空町議会事務局 TEL:0152-74-2111（内線266）

# 「網走市大空町定住自立圏共生ビジョン」を 国と北海道に提出

## ★第4回特別委員会 (12/8開催)

### 質疑と答弁

植田委員 定住自立圏

での取組に対し、本町で1,000万円、網走市で4,000万円程度の特別交付税が措置されるが、それを充当した事業の説明は今後されるのか。

総務課長 予算が伴えば、共生ビジョン関連

事業一覧として明示できる。構想を推進する部分が出れば、予算化の対象になる。意識し

※本特別委員会での審議概要をお知らせします。

平成23年3月、網走市と結んだ定住自立圏形成協定の具体的取組を示す「定住自立圏共生ビジョン」が、平成23年9月26日づけで、中心市である網走市から国と北海道に提出されたことなどが、12月8日に開催された本特別委員会で報告されました。

ながら取り組みたい。

品田委員 協定書の広

域観光の取組内容として、国内外の観光客誘致とある。両市町相互の役割では国内観光客誘致と東アジア圏域観光客誘致と記載されているが、海外観光客の誘致は、東アジア圏域だけなのか。

総務課参事 将来的に

は全世界になるが、今、主体的に取り組んでい

小島委員 網走市では

4,000万円程度の特別交付税が措置されるが、それにより救急医療体制が確立されるのか。問題が解決しなければ話にならない。お金をもらうためにする取組ではない。そういう議論が、共生ビジョン懇談会でされているのか。

福祉課長 具体的にど

の部分をごどのような体制に整えるのかということ、今後の検討課題である。

総務課参事 懇談会の中

で、すべて解決されるものにはなっていない。医療・産業・観光など、各分野から委員として参画いただいております、その議論をもとに両市町の担当で協議することになる。

小島委員 定住自立圏

の取組は課題解決のためにするのである。問題提起されたものを、市町の枠組みの中で解決する手法を出さなければならぬ。

総務課主査 共生ビジ

ョン懇談会委員と両市町の担当課長を含めた話し合いが必要という意見もある。事務局と懇談会、検討会議を含め、解決策を考えていきたい。



チャーター便女満別空港到着の様子



# 議会基本条例案の検討が大詰めに

議会運営委員会が中心となって協議・検討して作成し、本特別委員会に引き継がれた大空町議会基本条例(素案)をもとに内容を検討してきました。

9月27日には、全国的な事例に精通されている北海道町村議会議長会 勢旗事務局長を講師としてお迎えし、町民の皆様にもご参加いただいた中で、「議会基本条例を町民と共に学ぶ講演会」と題しての勉強会を開催し、議会のあり方、議会基本条例という位置づけの重要性を再認識してきたところです。

先進事例や勉強会での内容を踏まえながら、これまでの審議の中で各委員から出された意見をもとにまとめた「原案」を検討しています。

- 第8回特別委員会 (12/8開催)
- 第9回特別委員会 (12/21開催)
- 第10回特別委員会 (1/13開催)
- 第11回特別委員会 (2/10開催)

大空町議会基本条例原案の検討



「議会基本条例を町民と共に学ぶ講演会」の様子



委員会での審議風景



自治基本条例(仮称)検討委員会正副委員長と意見交換



「議会基本条例を町民と共に学ぶ講演会」の様子

## 大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向、議事日程、議決結果や会議録なども随時更新の上掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/> からアクセス





# ● 常任委員会の活動状況 ●

総務文教厚生、産業建設の2常任委員会では、議会閉会中も随時委員会が所管する項目などの懸案事項調査を行っており、その審議概要などをお知らせします。

## 総務文教厚生常任委員会

### (1) 第8回委員会(12/7)

- 契約事務の明確化と事務の効率化を図るため、長期継続契約を導入
- 特別職公務員の報酬等支給方法などの見直し
- 導入後年数が経過している行政情報システムの更新スケジュール等
- 生活路線バス運行維持対策として、美幌線・女満別空港線を運行する網走バスへの助成を追加
- 平成24年度を初年度とし、計画期間を15年として策定する一般廃棄物処理基本計画の中間報告
- 平成23年度を初年度とし、計画期間を5年として策定する大空町交通安全計画の中間報告
- 平成23年度までの期間分しか定められていない特定公共賃貸住宅の平成24年度以



豊住合同運動会の開催風景

- 降家賃を定める戸籍事務OA化に向けた取組経過
- ふれあいセンターフロッグスの無料開放を終了
- 福祉バス運行状況の報告
- 学校事務主幹の配置適正化を図る
- 児童生徒の読書活動や学校図書館の活用

- 町内高等学校への新入学生確保対策のため、制服購入費用を助成
- 小学校の統合時期に関する説明
- 支援するため、学校図書館環境整備員(図書館司書)が巡回する事業に取り組み



女満別小学校での被災地支援活動報告

### (2) 第9回委員会(12/20)

- 東日本大震災被災地支援活動内容に関する講話を各小学校で実施

る講話を各小学校で実施

## 産業建設常任委員会

### (1) 第11回委員会(12/6)

- 高齢の方・障がいのある方に対して除雪サービス事業を拡充
- 間口減少により教職員数の減も見込まれる女満別高校へ、町が補助教員を配置する
- 会計検査院実施の検査に準じて、道内の教職員勤務状況などの調査を実施する
- 第10回委員会(1/13)
  - 地方税法上の還付金請求権の時効5年を超える部分も還付対応できるよう、「大空町税等過誤納返還金取扱要綱」を制定

- まちづくり住民懇談会の活動経過報告
- 道道女満別空港線改良工事の概要
- 平成23年度除雪計画の説明
- 朝日ヶ丘公園・地域振興会館の指定管理に関する説明
- 旧町営牧野売払いの概要説明
- ヘパタクロル(残留農薬) 検出力ポチャの処分方法等の説明

### (2) 第12回委員会(12/20)

- 要望意見書内容の審議

### (3) 第13回委員会(1/26)

- 公営住宅法改正により廃止される同居親族要件を、大空町営住宅に引き続き規定し適用する
- 女満別福祉会・東藻琴福祉会施設整備に伴う町補助の考え方の説明
- 道東ドクターヘリ運航事業への参加に伴う考え方の説明

- 除雪作業中に発生した事故の概要説明
- コーネ病畜の発生に関する説明
- 藻琴山温泉資源を活用した施設整備計画の概要



イチゴ栽培ハウスの外観



本年度に整備されたイチゴ栽培ハウス

## 総務文教厚生産業建設合同

### (1) 第3回合同開催(1/26)

- 総合計画実施計画の

- 見直し結果の報告
- 平成22年度決算に基づき見直した公債費負担適正化計画の説明



笑顔が絶えない明るいまちづくりを

# 総務文教厚生常任委員会 視察調査報告書

総務文教厚生常任委員会  
委員長 近藤 哲 雄

総務文教厚生常任委員会では、11月16日から19日までの日程で、本町に  
関連する事案の調査、研修のため、行政視察調査を実施しました。

## 視察訪問先：ボツシユ(株)横浜事務所 (神奈川県横浜市)

### 研修項目：「誘致企業と地域自治体との連携協力について」

ボツシユ(株)女満別テクノカルセンターへの企業投資金額は、累計で100億円に達します。進出先自治体の支援体制が投資に大きく影響するとのことで、ドイツ本社は地元自治体との連携状況に



今後も相互に連携していくことを確認しました。

強い関心を示しており、今後より充実した体制に配慮願いたいとの要請を受けました。  
女満別テストコースでは2010年から2011年にかけて、延べ1、132人の雇用があった

こと、社員食堂での大空町産の食材利用を検討したが、経費面で課題が残ること、大空町産の農産物フェアを実施したことなどの話題が出され、ボツシユ(株)のスタンスとし

## 視察訪問先：由布市庄内庁舎 (大分県由布市)

### 研修項目：「住民自治基本条例について」「インターネット公売の取組について」

大空町では、自治基本条例の制定に向け検討が進められており、議会がどのような視点でかわっていくべきか、そして、由布市での条例施行後の状況を調査しました。

て進出先自治体に配慮した取組が検討、実施されていることから、本町としても企業側の配慮を踏まえ、協力関係を築くことが重要と考えます。

「行政主導では、これからのまちづくりは進まない」という基本的考え方のもと、市民全体でまちづくりに取り組む姿勢を明確にしようということが、住民自治基本条例制定の動きにつながったとのこと。

「インターネット公売」は、税などの滞納者の所有財産を差押えてインターネット上で公売し、滞納額の収納に充てようとするもので、本町でも今後実施していくことが検討されています。

自治基本条例は「自治体の憲法」とも言われ、「住民主体のまちづくり」に具体的に取り組んでい

一つの手法を通して、滞納額圧縮もさることながら、滞納問題に厳正に取り組む行政側の姿勢を見



先進的な取組を学びました。本町の取組につなげていきます。

## 視察訪問先：社会福祉法人障がい者総合支援センター

### 研修項目：「障がい者福祉センターの運営について」 ゆきぞの(熊本県美里町)

障がい者福祉に関する拠点施設が本町でもスタートする予定であり、本委員会が昨年度から継続して調査・検証してきました。  
訪問先では幅広く事業展開されており、就労継続支援B型事業(※)のワークセンターでは、タオル製造の下請け作業、地域農家の農作業派遣、高齢者就労センターとの相互協力を通して就労先が確保されていました。  
施設側は、人口1万人程度の美里町でも6人の方が就職しており、就労支援に特化して取り組みが結果が残せる手ごたえを感じているとのこと。日常訓練を通して就労意欲の意識づけをすることが一番大事とのお話がありました。

就労先が減少する冬季間は、施設独自にシイタ

能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを提供する事業所で、その形態にはA型、B型の2種類あり、A型は障がい者と雇用契約を結び「雇用型」、B型は雇用契約を結ばず、利用者が比較的事由に働ける「非雇用型」になります。  
本町では、障がい者福祉センターの整備、供用開始に伴い、労継続支援B型事業に取り組む予定となっています。

### ※ 就労継続支援事業

所・障がい者自立支援法に基づく就労継続支援のための施設で、一般企業への就職が困難な障がい者に就労機会を設け、生産活動を通じて知識と



皆さん真剣に作業をしていました。

## 視察訪問先：氷川町役場 (熊本県氷川町・大空町の友好町)

### 研修項目：「中学生相互交流、高校生実習研修受入れについて」「障がい者福祉政策の展開について」

中学生相互交流「ふれ愛スタディ事業」は、旧東藻琴村時代の平成9年から事業展開されています。本事業を通して、さらに両町の交流は深まっており、数字にあらわれない「経験」は、子供たちの今後のためにも非常に大事だと認識されています。

障がい者福祉政策の展開については、相互の取組状況を確認し合う形で意見交換を行いました。次々行われる法改正により利用者側から不安の声

課題として、事業経費、参加者負担やホームステイ受入れ体制など、参加しやすい環境整備を進める必要があるとのこと。  
昨年、氷川町内の果樹農家で東藻琴高校生の農業実習受入れが実施されています。今後も継続し、本事業が安定してできれば次のステップとして農家への民泊も考えたいとお話がありました。  
今後も事業を継続さ



お互いの取組など意見交換

あがっていることなど、氷川町の今日的課題をお聞きしました。  
甚大な被害を及ぼした「東日本大震災」を経験し、改めて友好関係にある氷川町と大空町とが、万が一の事態にすぐ声をかけ合えることの必要性を感じました。  
継続されている子供たちの交流、その他さまざまな分野での交流を通して、その「絆」がより強いものになればと思っています。  
今回視察テーマに掲げ、訪問先で調査した内容は本町に関連する課題の一部であり、検討していかねければならない課題はまだあります。  
研修で得た内容が今後の行政運営に反映されるよう議会側からアクションを起こし、行政、そして町民につき、よりよい「大空町」になるよう議会としての責任、役割を果たしていく必要性を強く受けとめているところです。

せることが、納税意識・意欲の向上に結びつくものだと思います。納税の公平性という原則のもと、そうした姿勢は健全な納税者にも知らせる意味を含んでいると感じました。

# 要望意見書

次のとおり国に対して要望意見書を提出しました。

## 環太平洋経済連携協定に反対する要望意見書

このたび、政府は、環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加を表明しました。

畑作、酪農、畜産などの農林水産業を基幹産業とする北海道においては、関税撤廃を原則とするＴＰＰが締結され、何ら対策がなされなかった場合には海外の安い農水産物が大量に流入するなど、関連産業を含めて多大な影響が生じるとともに、我が国の食料安全保障を根底から揺るがし、道民の暮らしと経済の支柱が失われて農山漁村は崩壊し、地域そのものが立ち行かなくなるおそれがあります。

今、政府が行うべきことは、足腰の強い農林水産業を構築し、農山漁村を再生させることです。

さらに、医療、公共事業、金融、食の安全、雇用など、さまざまな分野に影響が及ぶ可能性があり、国民生活の根幹にかかわる問題でもあります。

そのため、多くの国民、道民、地方議会と自治体首長、国会議員もＴＰＰ交渉への参加に反対・慎重な対応を強く求めてきました。

こうした中で、国民に対して情報提供がなされず、国民合意がないまま交渉参加に向けた『関係国との協議開始』を総理大臣が表明したことは、きわめて遺憾であります。

よって、政府においては、ＴＰＰ協定が地方の産業と国民生活に及ぼす影響などについて、十分な情報提供とあわせて、国民的な議論を行うとともに、引き続き、道民・国民合意のないまま関税撤廃を原則とするＴＰＰ協定には参加しないことを重ねて強く要望します。

## 編集後記

平成24年、辰年が幕を閉じました。正月から雪が多く、氷点下20度を下回る厳しい寒さの日もあり、流水も例年より早く来しました。ことも何やら、予想もつかないことがあるのでしょうか。

このような中、1月27日、大空町に大きな話題が飛び込んできました。21世紀枠として、3月21日に甲子園で開幕する選抜高校野球大会に、女満別高校の初出場が決まりました。オホーツク勢として42年ぶりとなる快挙です。

全校生徒132人という小規模校の野球部は、鈴木監督のもとで工夫を凝らした練習、あいさつ、そして除雪ボランティアに取り組み、日ごろから地域とのつながりも深く、手厚い支援をされてきた地域の皆さんとともにつかんだ甲子園出場と言えます。

さて、国レベルではＴＰＰの問題があります。改めて、どこに落とし穴、危険があるかを確認し、断固反対します。

議会では議会基本条例の策定作業が進んでおり、2月16日、17日には、2回目となる「議会報告会」が開催されました。

町民皆様が、議会をより身近なものに感じられるよう、今後も一層「開かれた議会」を目指し、努力してまいります。今後とも町民皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

議会広報編集特別委員会

委員 齋藤 宏 司

## 議会活動掲示板

### 【「障がい者福祉センター」と「イチゴ栽培ハウス」の整備状況を視察(11/24)】

11月24日の臨時会閉会后、旧東藻琴国保診療所施設を活用した「障がい者福祉センター『ちあふる』」と、芝桜公園施設内でオープン予定の温泉熱を活用した「イチゴ栽培ハウス」の整備状況を視察しました。



温泉熱を活用し、新たな観光事業が取り組まれます。  
(イチゴ栽培ハウス整備状況を視察)



障がい者福祉の拠点施設に。  
(障がい者福祉センター「ちあふる」)

この二つの施設に関する事項は、議会でも十分審議・議論してきました。

「障がい者福祉センター」は4月1日供用開始の予定で、「イチゴ栽培ハウス」はイチゴの植えつけが完了し、3月ごろには最初のイチゴが摘み取れるほどに生育する見込みとなっています。

### 【新成人の新たな門出を祝福】

1月8日、大空町成人式が挙行政され、希望に満ちた新成人皆さんの新たな門出を祝福しました。



### 【消防出初式が挙行政】

厳しい寒さの中、女満別消防団(1/7)・東藻琴消防団(1/8)と大空消防署の「消防出初式」が挙行政されました。議員も参列し、訓練や分列行進の様子などを拝見しました。

### 【「TPP」について考える】

2月2日、教育文化会館で開催された「『TPP交渉と私たちの暮らしを考える』女満別集会」に参加しました。

基幹産業が農林水産業の本町にとって、非常に大きな影響を及ぼす可能性もあることから、議会全体の参加体制で集会に臨みました。



# 議会日誌

平成23年11月22日～平成24年2月29日

## 【平成23年】

- 11月24日 平成23年第3回臨時会（東藻琴総合支所での移動議会）  
第12回議会広報編集特別委員会  
〔議長〕オホーツク町村議会議長会役員会  
〔議長・総務文教厚生常任委員長〕大空町の高等学校教育を考える協議会
- 25日 〔副議長〕北網ブロック市・町議会正副議長会議（訓子府町）
- 29日 〔議長〕財務行政懇話会
- 12月2日 〔議長〕平成23年度第6回若返り演芸会  
6日 第11回産業建設常任委員会  
7日 第8回総務文教厚生常任委員会  
8日 第6回議員協議会  
第4回定住自立圏形成協定調査等特別委員会  
第8回議会基本条例策定特別委員会
- 14日 第9回議会運営委員会
- 20～21日 平成23年第4回定例会
- 20日 第9回総務文教厚生常任委員会  
第12回産業建設常任委員会
- 21日 第10回議会運営委員会  
第7回議員協議会  
第9回議会基本条例策定特別委員会  
第13回議会広報編集特別委員会
- 26日 女満別空港整備・利用促進協議会総会

## 【平成24年】

- 1月7日 平成24年消防出初式（女満別消防団）
- 8日 平成24年消防出初式（東藻琴消防団）  
平成24年成人式
- 11日 訓子府町議会総務文教・産業建設両常任委員会視察来町
- 12日～13日 〔議長〕女満別空港整備・利用促進協議会航空会社要望活動（東京都）
- 12日 第4回議会基本条例策定特別委員会正副委員長会議

- 13日 第10回総務文教厚生常任委員会  
第10回議会基本条例策定特別委員会
- 26日 第11回議会運営委員会  
第11回総務文教厚生常任委員会  
第13回産業建設常任委員会
- 28日 〔議長〕女満別建設業協会創立50周年記念式典
- 2月2日 第12回議会運営委員会  
〔T P P交渉と私たちの暮らしを考える〕女満別集会
- 8日 〔事務局長〕北網ブロック町議会事務局局長会議（津別町）
- 9日 第14回議会広報編集特別委員会
- 10日 平成24年第1回臨時会  
第11回議会基本条例策定特別委員会
- 11日 〔正副議長〕網走東藻琴会（網走市）
- 15日 第15回議会広報編集特別委員会
- 16日～17日 議会報告・視察調査報告会
- 20日 第16回議会広報編集特別委員会
- 24日 議会議員・農業委員・J A役員等合同学習会
- 25日 〔議長〕めまんべつ観光協会60周年記念式典  
〔議長〕大空町文化団体協議会表彰式・文団協まつり
- 27日～28日 〔議長・事務局長〕オホーツク町村議会議長会定期総会（遠軽町）

おおぞらぎかい 大空町議会だより 第23号 平成24年（2012年）2月29日発行

発行／大空町議会 編集／議会広報編集特別委員会 印刷／株式会社須田製版  
TEL 0152-742111 FAX 0152-742191

## 議会の傍聴はお気軽に！

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

**3月定例会は、3月8日(木)から**  
開かれる予定です。

味わい豊かなお料理を、各種取揃えております。



大空 豚しゃぶ長いも丼

山菜料理



他、子供かお年寄りまでしめるメニューを取り揃えています。

北網の山菜料理の店

**佐々木 食堂 旅館**

大空町東運管10号

TEL 0152-66-2011  
0152-66-2012  
FAX 0152-66-3825



UD FONT



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。また環境にやさしい植物油インキを使用しています。